

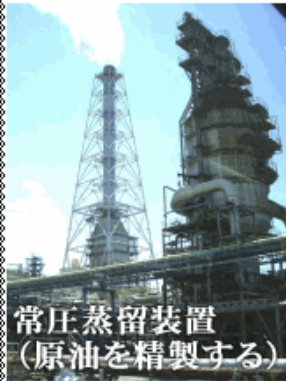
徒然なるままに...5 - 県夏期研より

8月8日(木)に、神辺中央コミュニティーセンターで、「広島県小学校教育研究会社会科部会 夏期研修会」が行われました。朝、高速道路での事故で渋滞していたり、駐車場が会場から離れていて、初っぱなから汗だくになったりと、大変なスタートでした。

1 実践報告-尾道市立栗原小学校 升谷先生

本校の授業づくりの特色として、2点挙げられます。

一つ目は、知識の構造図をつくることです。事実や用語といった「知識」、知識を基に「考えさせたい内容」、考えたことから見出された「法則・原理」の三層に整理することによって、単元のねらいを明らかにしようとされていました。



二つ目は、社会と出会い、問いをもつ「である」、調べ、様々な方法で考える「ふかめる」、それを解釈する「まとめる」、他の事象に当てはめたり、今後の対応策を考えたり、学んだことを表現したりして社会にかかわる「いかす」という4段階で授業展開する点です。

実践例として、6学年「わたしたちのくらしと日本国憲法」が提案されました。これは、日本国憲法が規定している内容を学習した上で、尾道では、自由な看板の取り付けを規制している条例があることから、「表現の自由があるのに、なぜ、『壁や看板を目立つようにしたい。』は、認められないのだろうか。」という問いを立て、公共の福祉について考える授業でした。表現の自由と公共の福祉の対立から問いを見出し、「自由」を問い直すというのがこの授業の特徴です。

ただ、公共の福祉は、自由の制限なのでしょうか。景観条例は、表現の自由を制限しているのでしょうか。表現の自由とは、思いや考えを縛られることなく主張できる権利です。景観条例は、主張を制限しているのではなく、みんなで古い雰囲気になじむ街づくりの方針に向かおうとするものだと思います。個人の利害より、全体を優先した方がみんなにとって都合がよいことを公共の福祉というのではないのでしょうか。

2 研究主題 基調提案-福山市立御野小学校

本校は、問いをつなぐ問題解決的な社会科授業づくりを進められています。これは、小さな問いから調べて、「中核となる問い」を立て、予想し、個人・集団で思考し、学習したことを振り返るという過程で学習するというものです。思考・話し合いの場面では、「考え方・話し方モデル」を提示されています。「比べると…。」や「～と～をつなげると。」「言い換えると…。」

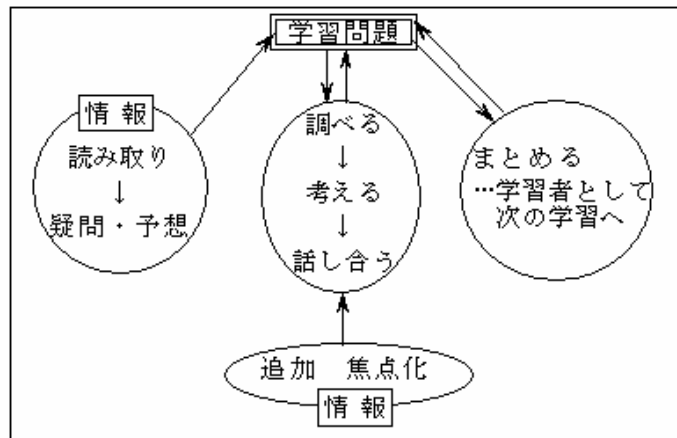


というように、子どもが考える手立てを話型として示し、思考を促そうとされています。

3 指導講話「小学校社会科の課題と授業改善の方策」-文部科学省教科調査官 澤井先生

単元全体を問題解決的な学習で構成するためには、まず、45分の授業のイメージ化を

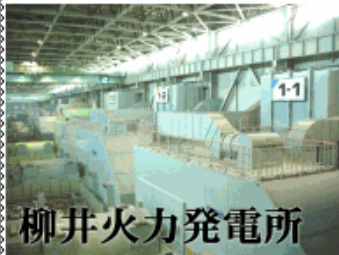
する必要があります。情報を提示することで疑問や予想が生まれ、それをもとに学習問題を設定し、それに基づいて言語活動を展開しながら調べ、考えていくという問題解決的な思考過程にのせて授業をつくることです。これを図示すると、右のようになります。



単元全体の構成で考えると、単元全体を貫く学習問題を立て、

これについて調べていくために必要な問いを組み立てることになります。

5学年の工業の学習で考えると、様々な種類の自動車を買うことができる一方、工場では、1本のラインでつくられているという情報から、「なぜ、いろいろな種類の自動車をつくることができるのだろうか。」という学習問題を立てます。この問いを探究するために、「どのように、自動車は、つくられているのだろうか。」と問いはつながり、自動車のつくり方とその工夫、手立てから、多品種を生産する仕組みを考える構成となります。これは、子どもが思考・予想する流れで、「どのように。」と問い、情報を集めたことによって、「なぜ。」と問うていくことを通して、単元を貫く学習問題を多面的に考えることになるのです。



柳井火力発電所

4 今回の研修から感じたことー思考と探究を仕組む
今回の研修を通して、次の2点を感じました。

1点目は、問いを意識して探究的な授業を目指していくことが必要だということです。

2点目は、子どもの思考と意見の練り上げを促すことが必要だということです。言語活動の重視と思考・判断・表現力の育成を目指す指導要領の内容を受けてのことでしょう。

この二点は、本校が大切にしていることにつながっています。しかし、問いを立て、話型等を取り入れて言語活動を展開すれば、子どもは、思考し、学び合うのでしょうか。そこには、「仕組む」ことが必要なのではないのでしょうか。どのような内容・情報をどう組み立てて問いにするか、どういう手法を提示して考えさせるか（どういう観点で、どういう流れ・過程で子どもは考えるか）といった仕組み、原理を考え、意図的に仕掛けていくことが必要だと考えます。それを目指そうとしているのが、「学び合いシート」の活用です。この仕掛け方が「白島スタイル」になればと思うばかりです。

